

# 大災害に備え連携確認

## 高山署など 高山駅で救助訓練

大規模災害に備える  
救助訓練が二十五日、  
JR高山駅であり、高  
山消防署や高山署など  
の訓練。



訓練で負傷者を運び出す消防隊員ら  
＝高山市昭和町のJR高山駅で

飛騨地域で震度6強の地震が発生し、駅構内で多数の負傷者が出たと想定した。消防隊員らが担架などで負傷者を駅の東側に搬送。外国人観光客が多いことも踏まえ、多言語で書かれた情報収集シートを使い、負傷箇所などを聞き出した。

高山赤十字病院の災害派遣医療チーム(DMAT)も参加。症状に応じて治療の優先順位を決めるトリアージをして、応急手当てを施した。高山消防署の担当者は「高山は外国人が多いことも考えて対応しなければならぬ。新しい駅で訓練できたことも良かった」と話した。

(坂本圭佑)